



一般社団法人

茨城県保険医協会

出版物のご案内

2019年11月発行

診療情報連携共有料 対応 「診療情報提供書」の書き方

A4判 70ページ 会員価格1,200円 定価1,500円(税・送料 込み)

紹介先に応じた「情報提供書」や 「情報提供依頼書」の書き方の実例集!!

- 2018年診療報酬改定にて新設された診療情報連携共有料における「情報提供依頼書」の書き方についても記載しています。
- 歯科のみならず、医科医療機関への「情報提供書」や「情報提供依頼書」の書き方も、実例を交えて解説している実例集です。
- 記載にあたってのポイントや留意点について、表やグラフ、イラストや写真を交えてわかりやすく解説しています。

■主な内容■

- ◆ はじめに
- ◆ 口腔外科への情報提供
- ◆ 矯正歯科への情報提供
- ◆ 内科への情報提供
- ◆ 皮膚科への情報提供
- ◆ 整形外科への情報提供
- ◆ 産婦人科への情報提供
- ◆ 耳鼻科への情報提供
- ◆ 精神科への情報提供
- ◆ 睡眠外来への情報提供
- ◆ 資料

連絡先：一般社団法人 茨城県保険医協会

〒300-0038 茨城県土浦市大町 12-31

TEL029(823)7930 FAX029(822)1341

E-mail:info@ibaho.jp

注文書

切り取らずこのままFAX029-822-1341へお送りください

医療機関名 _____ 担当者名 _____ ※必ずご記入ください。

住所 (〒 _____) _____

連絡先 TEL _____ FAX _____

注文数【 _____ 冊】× 価格【 1,200円(会員価格) or 1,500円(定価) 】 = 合計【 _____ 】円

代金支払方法 口座振替 ・ 代引き ※いずれかに○をつけてください(口座振替は会員のみ利用可)。
※代引きは、代引き手数料として 330円いただきます。

⑩内科へ(糖尿病)(情報提供依頼)

診療情報提供依頼書

照会先医療機関名 ○○内科医院

担当医名 内科 花子 先生

2020年5月1日

照会元医療機関の所在地および名称 福岡市○○区○○町1-1-1
○○歯科医院

電話番号 ○○○-○○○○

担当歯科医師名 保険医 太郎

下記の患者について、貴医療機関での診療情報の提供を依頼します。

患者氏名 佐藤 好子 性別(男()女(○))
生年月日 (明・大・昭(平)令) 2年 5月 1日 (30歳)
患者住所 〒123-4567 福岡市△△区△△町2-2-2
電話番号 ○○○-○○○○

1) 診療情報の提供を依頼する目的

(当該患者の傷病名、治療方針等)

平素よりお世話になっております。
歯周炎にて右上6番(第一大臼歯)の抜歯が必要ですが、貴科にて糖尿病の治療を行っているとのことですので、ご多忙のところ恐れ入りますが、情報の共有をお願いいたします。

2) 提供を求める診療情報の具体的内容(検査結果、投薬内容等)

血糖値のコントロール状況(HbA1c、空腹時血糖値)、投薬内容をお教え下さい。
抜歯は局所麻酔下(8万倍アドレナリン含有塩酸リドカイン)1.8ml×1Aにて行い、術前に抗菌薬(サワシリン750mg/日)1日間、術後に(サワシリン750mg/日)3日間の投与予定です。

※診療情報提供依頼書は、患者または照会先の医療機関に交付する。

※文書の写しをカルテに添付すること。

ひとくちメモ

糖尿病患者の医科歯科における情報交換の留意点

- ・糖尿病の病型、罹患期間：1型、2型など
- ・治療内容：食事療法、運動療法、血糖降下剤、インスリン療法など
- ・血糖コントロール状態：HbA1c値など
- ・糖尿病の合併症：腎障害、神経障害
- ・低血糖発作の既往の有無
- ・内服薬の種類と量
- ・歯科治療上の注意事項

歯科から医科への情報提供

- ・歯科疾患病名と歯科治療予定の内容
- ・使用予定の局所麻酔薬、どの程度の侵襲的処置になるのか。
- ・処方予定の抗菌薬、鎮痛剤の種類と量を具体的に記載しましょう。

糖尿病患者の歯科治療時に配慮すべき事項

初診時	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインを測定する。 ・医療面接では詳細な問診により評価することが大切である。 ・病態や病状は医科からの診療情報等を基に把握する。 ・血糖コントロールは十分になされているかどうか確認する。
予約時	<ul style="list-style-type: none"> ・空腹時を避けるため、予約は午前、午後とも早めの時間帯にする。 ・治療前は食事を摂らせ、処方薬は確実に服用するよう指示する。 ・環境の変化や食事時間の遅れにより、急激な血糖降下が生じる可能性もある。
治療時	<ul style="list-style-type: none"> ・診療前はバイタルサインを測定する。 ・診療時は血圧測定を行い、測定値はカルテに記載する。 ・低血糖発作は重篤な問題となるため、その対応方法を準備する。 ・ストレスや不安を減らすよう心掛け、患者の観察を怠らないようにする。 ・治療時における過度なストレスは循環動態にも影響する。 ・感染予防のために抗菌薬を投与する。術前投与も検討する。

※その他の資料は、66ページ「資料」をご参照下さい。